

# 行政の窓

## 平成27年度北海道木材需給見通しについて

平成27年度北海道木材需給見通しをまとめたのでお知らせします。

(「平成25年度北海道木材需給実績」「北海道木材需給平成26年度見込み・平成27年度見通し」は当課ホームページにて公表しています。<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/research.htm>)

### 1. 需要

平成26年度の総需要量は、消費税増税などに伴う住宅着工戸数の減少により住宅・土木建設資材の需要が減少する一方、産業用資材の需要が増加し、前年度並みの725万 $m^3$ となる見込みです。

用途別には、製材が住宅着工戸数の減少により住宅・土木建設資材の需要量が減少する一方、梱包・仕組・パレット資材の需要量が増加し、前年度並みの254万 $m^3$ となるほか、パルプ用チップは、針葉樹チップの需要量が減少する一方、広葉樹チップの需要量がやや増加し、前年並みの354万 $m^3$ となる見込みです。また合板用、その他の需要量は、合板用の需要が減少する一方、輸出用原木、燃料用等で使用される林地未利用材の需要量が増加し、117万 $m^3$ となる見込みです。

平成27年度は、景気の回復基調や住宅着工戸数が前年並みで推移することなどにより、木材の総需要量は前年度並みの721万 $m^3$ となる見通しです。

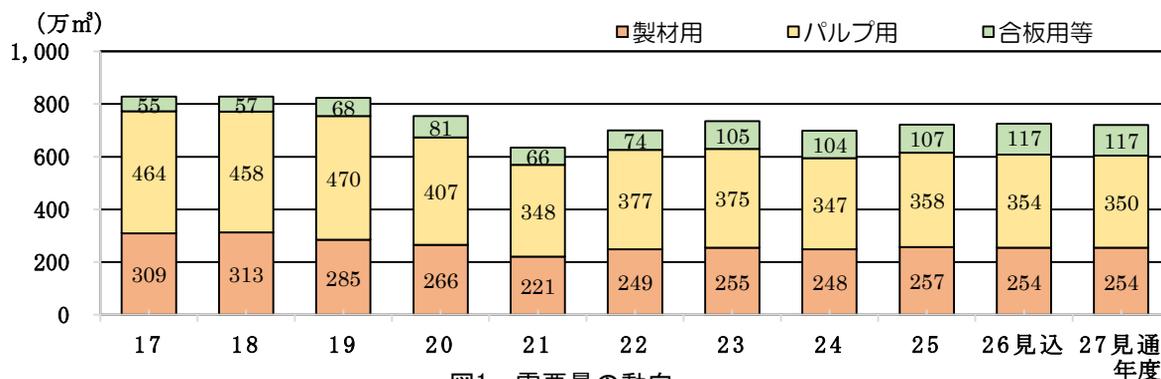


図1 需要量の動向

### 2. 供給

平成26年度の総供給量は、道産材の供給量が増加する一方、輸入材の供給量は減少し、全体では前年度並みの725万 $m^3$ となる見込みです。内訳としては、輸入集成材が増加する一方、輸入製材、輸入チップが前年度並みのほか、輸入丸太、輸入合板は減少する見込みです。

平成27年度は、輸入丸太、輸入合板の供給量が減少する一方で、道産材、輸入製材、輸入集成材、輸入チップともに前年度並みで推移すると予想されることから、全体としては前年度並みの721万 $m^3$ となる見通しです。

道産材供給量は、平成26年度はパルプ用の供給量が減少する一方、製材用、合板用の供給量は増加し、全体では、前年度比4%増(15万 $m^3$ )の415万 $m^3$ となる見込みで、平成27年度は製材用、合板用の供給量が前年並みで推移する一方、パルプ用の供給量は減少し、全体では前年度並みの412万 $m^3$ となる見通しです。

平成26年度の道産材供給率は、製材用原木等の増加幅が大きく、前年度より1.9ポイント上昇の57.3%となる見込みで、平成27年度は道産材、輸入材ともに前年並みで推移し、前年度より0.2ポイント下がり、57.1%となる見通しです。

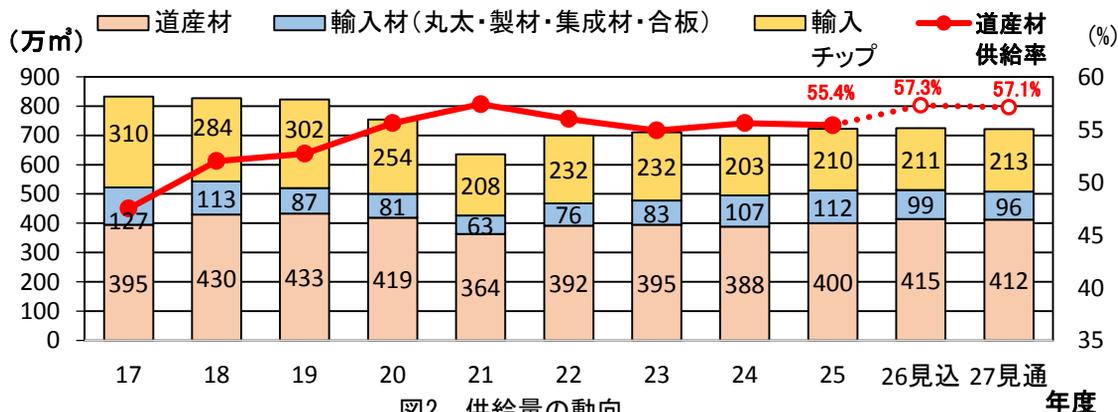


図2 供給量の動向

※掲載数値は、原木消費量または原木換算値です。

(水産林務部林務局林業木材課経営支援グループ)